平成26年度　杉並区施策評価表Ⅰ

施策番号	4	施策名	利便性の高い快適な都市基盤の整備	目標番号	2	目標名	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	都市計画課			関係課	交通対策課　土木管理課　杉並土木事務所		

施策目標

○鉄道の連続立体交差事業の進捗に伴い、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断が解消されるなど、道路交通と地域コミュニティの円滑化が進んでいます。
○都市計画道路等の整備により、便利で安全な道路ネットワークの形成が計画的に進んでいます。また、狭あい道路についても拡幅事業と併せて電柱のセットバックが進み、防災性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。
○区立施設や道路、駅など様々な施設のバリアフリー化が進むとともに、新たな地域交通が整備され、誰もが移動しやすく、安全・安心で快適なまちが形成されてきています。

施策分析

Ⅰ・施策コスト（単位千円）

区分		平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	特記事項
事業費	1		3,495,388	3,257,097	3,985,073	3,838,955	
(内)投資的経費等	2		2,254,610	2,053,832	2,700,273	2,590,179	
(内)委託費	3		2,879,071	2,685,405	3,282,479	3,206,896	
常勤職員数	4		68.64	74.57	70.39	77.66	
再任用職員数	5		4.00	4.01	6.00	6.08	
非常勤職員数	6		7.59	8.04	6.61	7.32	
人件費(4+5+6)	7		633,761	686,628	649,002	714,024	
総事業費(1+7)	8	0	4,129,149	3,943,725	4,634,075	4,552,979	
国・都からの支出金	9		174,240	131,012	171,366	218,420	
総事業費伴び率（計画比・実績比）					12.2	15.4	当該年度総事業費／前年度総事業費　%
人件費比率			15.3	17.4	14.0	15.7	人件費／総事業費（単位%）

Ⅱ・活動指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
まちづくり推進会議開催回数		回	10	9	15
沿線まちづくり活動団体助成数	まちづくり活動の助成を受けている団体数	団体	6	4	3
狭あい道路拡幅整備距離		m	6,666	6,417	7,732
南北バス「すぎ丸」の運行本数		本	79,558	79,222	78,882

Ⅲ・成果指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標	平成25年度実績	目標値	目標年度
区内での定住意向	区民意向調査による	%	85.5	84.5	86.5	87.7	90	33
都市計画道路（区道）完成延長	区内都市計画道路のうち整備完了した区道延長	m	6,642	6,642	7,022	7,022	8,052	33

施策を構成する事務事業の評価		
	推進（拡充）すべき事務事業	○鉄道連続立体交差の推進　○有料制自転車駐車場の運営 ○自転車駐車場等整備　○道路台帳の整備　○私道整備助成 ○都市計画道路の整備　○狭あい道路拡幅整備
	今後も同規模で継続（現状維持）すべき事務事業	○まちづくり施策の総合的推進②　○放置自転車対策の推進 ○自転車等駐車対策協議会の運営　○土木事務所維持管理 ○道路維持補修　○道路等清掃　○道路の路面改良 ○魅力ある歩行者優先の道づくり　○南北バスの運行
	縮小（廃止）すべき事務事業	○新たな地域交通システムの整備　○登録制自転車置場等の運営
	その他、個別の事情がある事務事業	

施策を取り巻く環境（社会情勢、国・都の動き、区民意見等）	快適で利便性の高い魅力的なまちづくりを推進する上で、道路・交通体系等の基盤整備は重要な課題のひとつです。 災害時だけでなく平常時においても、利便性や安全性を向上につながる都市計画道路の早期事業化や狭あい道路の拡幅整備や踏切による交通渋滞や地域分断を解消する鉄道連続立体事業の早期実施が求められています。 また、「バリアフリー基本構想」に基づく重点整備地区の早期バリアフリー化や東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機としたユニバーサルデザイン化の推進が求められています。

施策の総合評価（計画事業の取組実績と、取組実績を踏まえた評価結果）	学識経験者、関係事業者等で構成する「バリアフリー基本構想検討協議会」で検討を行い、平成25年8月に「杉並区バリアフリー基本構想」を策定し、誰もが暮らしやすいまちづくりを実現するための方針を示すことができました。 鉄道連続立体交差の推進では、京王線の連続立体交差事業及び鉄道付属街路について、東京都が事業認可を取得したことにより、実現に向け大きく前進しました。また、下高井戸、桜上水、上北沢各駅周辺地区の「まちづくり方針」を策定し、連続立体交差事業に伴う駅周辺整備と地域の特性等を考慮したまちづくりの検討が進展しました。 魅力ある歩行者優先の道づくりでは、地元商店街の要望を踏まえ、久我山平和会と和泉通り商店会の商店街カラー舗装化の整備や、電線類地中化事業の施行に伴う永福町駅北口商店街通りの無電柱化整備を実施したことにより、歩行者の安全が確保されるとともに、魅力ある商店街としてイメージアップを図ることができました。 狭あい道路拡幅整備では、建物の建替え時等に伴う狭あい道路拡幅整備の事前協議を947件行い、うち619件（7,732m）の拡幅整備工事を実施し、災害に強いまちづくりと良好な居住環境の整備につながりました。

改善・見直しの方向（中長期）		
	今後の施策の方向性	◉拡充　○サービス増　○現状維持　○効率化　○縮小・統廃合
	都市基盤の整備では、公共交通の利便性の確保、駅周辺まちづくりの推進、防災機能向上のための都市計画道路や狭あい道路拡幅など様々な事業を多角的に実施していくとともに、誰もが安全で快適に移動ができるよう、公共交通機関や施設などのバリアフリー化にも合わせて取り組んでいきます。 鉄道連続立体交差の推進では、西武新宿線の野方～井荻駅間と井荻～東伏見駅間が事業候補区間に位置付けられているため、早期実現を目指し、東京都等関係機関と連携して取り組むとともに、事業の効果を最大限に生かすため、沿線のまちづくりを進めていきます。 狭あい道路拡幅整備では、首都直下地震などへの防災面から、迅速に取り組んでいく必要があり、これまでの事業の着実な推進に加えて、重点地域の整備や私道整備助成事業と連携し、道路拡幅が可能な箇所について事業対象地としていきます。 平成25年度に策定した「杉並区バリアフリー基本構想」に基づき、道路や公共施設のバリアフリー化整備事業を確実に推進していくとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催も視野に入れたユニバーサルデザインのまちづくりを進め、バリアフリーのさらなる進展を目指します。	

平成26年度　杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号:　4　　】　【施策名：利便性の高い快適な都市基盤の整備　　　　　　　　】　　　　　　※金額の単位は千円

	事務事業番号	評価対象事務事業名	位置付		25年度事業費			職員数			人件費（再任用・非常勤含）	総事業費	国・都からの支出金	今後の事業の方向性			
			実行計画事業	主要事業		(内)投資的経費等	(内)委託費	常勤	再任用	非常勤				拡充	現状維持	縮小	その他
1	356	まちづくり施策の総合的推進②	○	○	1,016	0	28	1.06	0.00	0.33	10,065	11,081			○		
2	359	新たな地域交通システムの整備	○		300	0	0	0.30	0.00	0.00	2,589	2,889				○	
3	360	鉄道連続立体交差の推進	○	○	2,677	2,677	62	5.28	0.00	0.00	45,566	48,243		○			
4	388	登録制自転車置場等の運営			11,109	0	10,312	1.09	0.00	0.00	9,407	20,516				○	
5	389	有料制自転車駐車場の運営	○		629,750	2,834	341,909	5.07	0.00	1.00	46,534	676,284		○			
6	390	放置自転車対策の推進			171,227	7,045	156,007	7.54	0.00	0.00	65,070	236,297			○		
7	391	自転車等駐車対策協議会の運営			356	0	78	0.74	0.00	0.00	6,386	6,742			○		
8	392	自転車駐車場等整備	○		32,933	32,933	0	2.00	1.00	0.00	21,120	54,053		○			
9	395	土木事務所維持管理			8,810	0	2,879	0.18	1.00	0.00	5,413	14,223					
10	399	道路台帳の整備	○		55,835	0	54,294	5.31	1.00	2.99	57,997	113,832	19,500	○			
11	400	私道整備助成	○		98,055	98,055	351	3.02	0.00	2.00	31,623	129,678		○			
12	401	道路維持補修			634,238	421,773	596,693	8.16	1.00	0.00	74,281	708,519			○		
13	402	道路等清掃			75,026	0	73,770	2.40	0.00	0.00	20,712	95,738			○		
14	403	道路の路面改良	○		690,824	690,434	690,434	10.72	0.00	0.00	92,514	783,338	53,636		○		
15	404	魅力ある歩行者優先の道づくり	○	○	407,358	373,228	354,012	4.17	0.00	0.00	35,987	443,345	20,747		○		
16	405	都市計画道路の整備	○		310,909	310,909	310,715	2.02	0.00	0.00	17,433	328,342	124,537	○			
17	406	狭あい道路拡幅整備	○	○	650,291	650,291	613,140	16.60	2.08	1.00	154,067	804,358		○			
18	422	南北バスの運行			58,241	0	2,212	2.00	0.00	0.00	17,260	75,501			○		
19											0	0					
20											0	0					
21											0	0					
22											0	0					
23											0	0					
24											0	0					
25											0	0					
26											0	0					
27											0	0					
28											0	0					
29											0	0					
30											0	0					
31											0	0					
32											0	0					
33											0	0					
34											0	0					
35											0	0					
36											0	0					
37											0	0					
38											0	0					
39											0	0					
40											0	0					
合計					3,838,955	2,590,179	3,206,896	77.66	6.08	7.32	714,024	4,552,979	218,420				

平成26年度　杉並区施策評価表 I

施策番号	5	施策名	良好な住環境の整備	目標番号	2	目標名	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	住宅課			関係課	都市計画課　まちづくり推進課		

施策目標

○地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市、住み続けたいまち、住んでみたいまち杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。
○まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。
○区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活を送れるようになっています。

施策分析

Ⅰ・施策コスト（単位千円）

区分		平成23年度	平成24年度		平成25年度		特記事項
		実績	計画	実績	計画	実績	
事業費	1		1,258,788	1,174,501	1,288,740	1,246,552	
(内)投資的経費等	2		31,410	39,381	43,183	41,771	
(内)委託費	3		452,353	408,474	460,179	445,939	
常勤職員数	4		29.14	28.95	21.70	31.06	
再任用職員数	5		2.00	2.00	3.00	3.01	
非常勤職員数	6		7.00	7.00	7.50	8.00	
人件費(4+5+6)	7		280,628	278,975	219,772	301,906	
総事業費(1＋7)	8	0	1,539,416	1,453,476	1,508,512	1,548,458	
国・都からの支出金	9		153,236	119,353	137,182	119,486	
総事業費伸び率(計画比・実績比)					▲ 2.0	6.5	当該年度総事業費／前年度総事業費 %
人件費比率			18.2	19.2	14.6	19.5	人件費／総事業費(単位%)

Ⅱ・活動指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
区営住宅昇降機設置数	設置可能19住棟中17棟設置済	基	1	1	0
区営住宅管理戸数	31団地	戸	850	850	850
高齢者住宅管理戸数	15団地	戸	374	374	374

Ⅲ・成果指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標	平成25年度実績	目標値	目標年度
住環境に満足する区民の割合	区民意向調査による	%	90.5	90.5	91.5	91.9	95	33
最低居住面積水準未満の住宅に住む世帯の割合	住宅・土地統計調査による(5年毎)H20実施	%	17.0	17.0	19	17.0	5	33

<table>
<tr><td rowspan="4">施策を構成する事務事業の評価</td><td>推進（拡充）すべき事務事業</td><td>○まちづくり施策の総合的な推進①　○住宅総合相談等</td></tr>
<tr><td>今後も同規模で継続（現状維持）すべき事務事業</td><td>○用途地域などの案内調整　○都市計画道路公園緑地の案内調整　○地区整備計画
○大規模団地建替え計画　○まちづくり活動の支援　○区営住宅の建替・改善
○区営住宅の提供　○高齢者住宅の提供　○都営シルバーピアの運営
○高齢者等アパートの提供　○住宅修築資金の融資あっせん　○区営住宅整備基金の積立金</td></tr>
<tr><td>縮小（廃止）すべき事務事業</td><td>○区民住宅の運営管理</td></tr>
<tr><td>その他、個別の事情がある事務事業</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>施策を取り巻く環境（社会情勢、国・都の動き、区民意見等）</td><td>誰もが安全・安心に住みなれた地域で住み続けることができるよう、国は民間住宅市場や既存ストックの重視へと住宅施策を転換するとともに低額所得者や高齢者等の住宅確保要配慮者への居住の安定確保を図ることとしました。さらに、平成23年4月、高齢者の居住の安定確保に関する法律が改正され、サービス付き高齢者向け住宅の制度が創設され、東京都は、補助制度を活用し、ケア付き住宅の整備に取り組んでいます。
介護が必要になっても、できるだけ住み慣れた地域で住み続けることを希望する高齢者の方は約7割に達しています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>施策の総合評価（計画事業の取組実績と、取組実績を踏まえた評価結果）</td><td>まちづくり施策を総合的に推進するために、平成25年度に「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）」を改定し、都市整備部門の総合的方針として位置づけ、災害に強く、地域特性を活かした質の高い住宅都市の実現に向けて、区、区民、事業者の協働により取り組み、杉並区基本構想に示された杉並区の目指すべき将来像を実現していくこととしました。
住宅施策では、平成25年度に「杉並区住宅マスタープラン」を改定し、防災機能の向上、住宅セーフティネットの再構築、良好な住環境の形成を柱とした取組を実施することとし、区営住宅の昇降機設置等のバリアフリー対策を順次進めるとともに、住み慣れた地域で暮らしたいと望む高齢者が多いことから、和田みどりの里の空き住戸（11戸）をサービス付き高齢者向け住宅に順次転換し、保健福祉分野との連携の上、今後の高齢者の住まいの確保に向けた取組を開始しました。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">改善・見直しの方向（中長期）</td><td>今後の施策の方向性</td><td>○ 拡充　○ サービス増　◉ 現状維持　○ 効率化　○ 縮小・統廃合</td></tr>
<tr><td colspan="2">まちづくり施策全般については、「まちづくり基本方針」を踏まえ、引き続き着実に推進していきます。住宅施策では、「杉並区住宅マスタープラン」の見直しを踏まえ、住宅確保要配慮者への支援や空き家の利活用などについて、民間事業者等と連携し、良質な住宅ストックを活用することにより、区民がゆとりある生活を送ることができるようにするため、総合的な施策を推進していきます。また、介護が必要になっても高齢者が住み慣れた地域で安全・安心して生活できるようにするため、和田みどりの里の順次転換や民間事業者への整備費の補助制度の活用など、サービス付き高齢者向け住宅の整備を推進します。</td></tr>
</table>

平成26年度　杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号：５　】【施策名：良好な住環境の整備】

※金額の単位は千円

	事務事業番号	評価対象事務事業名	位置付		25年度事業費			職員数			人件費（再任用・非常勤含）	総事業費	国・都からの支出金	今後の事業の方向性			
			実行計画事業	主要事業		(内)投資的経費等	(内)委託費	常勤	再任用	非常勤				拡充	現状維持	縮小	その他
1	355	まちづくり施策の総合的推進①	○	○	3,460	0	1,192	3.46			29,860	33,320	0		○		
2	357	用途地域などの案内調整			9,972	0	9,844	3.10	1.00		30,613	40,585	65		○		
3	358	都市計画道路公園緑地の案内調整			1	0	0	2.11		1.00	20,989	20,990	0		○		
4	361	地区整備計画	○		12,328	0	4,845	6.14			52,988	65,316	0		○		
5	363	大規模団地建替え計画			0	0	0	2.00			17,260	17,260	0		○		
6	365	まちづくり活動の支援	○		4,369	0	1,505	1.13	1.01		13,651	18,020	0		○		
7	370	区営住宅の住環境整備	○	○	41,771	41,771	41,771	0.40			3,452	45,223	17,247		○		
8	371	区営住宅の提供	○		170,019	0	165,790	2.98		1.50	29,887	199,906	44,035		○		
9	372	区民住宅の運営管理			115,404	0	12,831	1.10			9,493	124,897	1,812			○	
10	373	高齢者住宅の提供		○	596,157	0	173,584	2.60		3.30	31,612	627,769	44,170		○		
11	374	都営シルバーピアの運営			30,917	0	25,469	0.40		0.20	4,008	34,925	2,040		○		
12	375	高齢者等アパートの提供	○		70,694	0	2,434	1.44	1.00	1.00	19,067	89,761	75		○		
13	376	住宅総合相談等	○	○	9,022	0	6,129	3.00		0.80	28,114	37,136	2,749	○			
14	377	住宅修築資金の融資あっせん			973	0	545	1.00		0.20	9,186	10,159	0		○		
15	378	区営住宅整備基金の積立金			181,465	0	0	0.20			1,726	183,191	7,293				
16											0	0					
17											0	0					
18											0	0					
19											0	0					
20											0	0					
21											0	0					
22											0	0					
23											0	0					
24											0	0					
25											0	0					
26											0	0					
27											0	0					
28											0	0					
29											0	0					
30											0	0					
31											0	0					
32											0	0					
33											0	0					
34											0	0					
35											0	0					
36											0	0					
37											0	0					
38											0	0					
39											0	0					
40											0	0					
合計					1,246,552	41,771	445,939	31.06	3.01	8.00	301,906	1,548,458	119,486				

平成26年度　杉並区施策評価表Ⅰ

施策番号	6	施策名	魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり	目標番号	2	目標名	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	まちづくり推進課			関係課	―		

施策目標

○荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積や利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。
○駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人が訪れたくなるようなにぎわいと活力が生まれています。
○まちなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。

施策分析

Ⅰ・施策コスト（単位千円）

区分		平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	特記事項
事業費	1		32,737	26,583	84,191	72,143	・25年度は、荻窪駅西口改札内快速線ホームエレベーター設置工事の補助を行ったため、事業費が増加しています。 補助金額49,542千円 ・事業費の計画と実績の差は、主に上記エレベーター補助申請額の減によるものです。 57,960千円→49,542千円
(内)投資的経費等	2		6,803	5,983	0	0	
(内)委託費	3		15,805	13,525	17,802	16,998	
常勤職員数	4		7.00	7.70	10.00	10.59	
再任用職員数	5		1.00	1.01	1.00	1.00	
非常勤職員数	6		1.00	1.00	1.00	1.00	
人件費(4+5+6)	7		67,580	73,709	92,940	98,032	
総事業費(1＋7)	8	0	100,317	100,292	177,131	170,175	
国・都からの支出金	9		0	0	30,000	22,936	
総事業費伸び率（計画比・実績比）					76.6	69.7	当該年度総事業費／前年度総事業費　%
人件費比率			67.4	73.5	52.5	57.6	人件費／総事業費（単位%）

Ⅱ・活動指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
駅周辺整備に関する相談・指導回数		回	57	60	75
普及啓発活動等の回数	荻窪駅周辺まちづくりにかかるシンポジウム、区民懇談会等の回数	回	2	8	3
景観新聞の発行部数		部	5,000	5,000	5,000
景観週間の参加者数		人	2,020	1,900	2,500

Ⅲ・成果指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標	平成25年度実績	目標値	目標年度
住環境に満足する区民の割合	区民意向調査による	%	90.5	90.5	91.5	91.9	95	33
杉並区のまちを美しいと思う人の割合	区民意向調査による	%	77.0	76.7	79	78.5	85	33

<table>
<tr><td rowspan="4">施策を構成する事務事業の評価</td><td>推進（拡充）すべき事務事業</td><td></td></tr>
<tr><td>今後も同規模で継続（現状維持）すべき事務事業</td><td>○都市再生事業
○多心型まちづくりの推進
○景観まちづくり</td></tr>
<tr><td>縮小（廃止）すべき事務事業</td><td></td></tr>
<tr><td>その他、個別の事情がある事務事業</td><td></td></tr>
</table>

施策を取り巻く環境（社会情勢、国・都の動き、区民意見等）	住宅都市杉並としては、低層住宅を中心とした住環境の質をさらに高めていくことが重要ですが、一方で、少子高齢化が進行する中で、駅周辺を、区民に身近なにぎわいや交流の拠点として、更に利便性を高め活性化していくことが求められています。 区内各駅周辺は、後背に住宅地を抱える既成市街地となっており、駅周辺の高度利用や商業地化には住民からの抵抗感もあり、幅広く区民の意見を聞きながら、あるべき地域の姿を合意していくことが必要です。

施策の総合評価（計画事業の取組実績と、取組実績を踏まえた評価結果）	荻窪駅周辺都市再生事業では、住民主体の「荻窪まちづくり会議」の設立・運営を支援し、検討区域の特性や課題の共有を進めました。今後はそれを土台に、区民との協働によるまちの将来構想の検討・策定を支援していきます。 多心型まちづくりでは、JR東日本による荻窪駅西口改札内快速線エレベーターの設置工事を支援し、完成に至りました。また、景観まちづくりでは、景観計画の着実な運用に加え、「杉並ある区マップ～西荻窪・上井草編」の発行など、景観に関する区民意識の向上に取り組みました。 全体に共通する取組としては、中央線の各駅など6地区で、ハード施策とソフト施策の連携による総合的なまちづくりを進める取組を行いました。

<table>
<tr><td rowspan="2">改善・見直しの方向（中長期）</td><td>今後の施策の方向性</td><td>○ 拡充　○ サービス増　◉ 現状維持　○ 効率化　○ 縮小・統廃合</td></tr>
<tr><td colspan="2">駅周辺は、生活を支え、地域活力の拠点となる重要な場ですが、特にハード面の整備は多くの予算と長い期間を要する取組であり、関係機関と連携し、適切に役割分担をしながら行っていく必要があります。平成25年度から中央線の各駅など6地区を手始めに、ハード面の施策と、産業振興や文化振興等のソフト面の施策を効果的に連携させる取組を行いました。今後、文化や産業、景観などの地域資源を積極的に活用し、各地区の特性をさらに活かしたまちの魅力の向上とにぎわいの創出に取り組みます。
また、区立施設の再編整備や荻外荘の整備等のまちの変化に留意しつつ、各地区のまちの特性と熟度に応じた総合的なまちづくりの推進に取り組みます。</td></tr>
</table>

平成26年度　杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号：６　】　【施策名：魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり　】　※金額の単位は千円

	事務事業番号	評価対象事務事業名	位置付		25年度事業費			職員数			人件費（再任用・非常勤含）	総事業費	国・都からの支出金	今後の事業の方向性			
			実行計画事業	主要事業		(内)投資的経費等	(内)委託費	常勤	再任用	非常勤				拡充	現状維持	縮小	その他
1	364	景観まちづくり	○		6,050		3,288	4.07	0.00	1.00	37,904	43,954			○		
2	368	都市再生事業	○	○	12,129		9,772	3.33	1.00	0.00	32,598	44,727			○		
3	369	多心型まちづくりの推進	○	○	53,964		3,938	3.19	0.00	0.00	27,530	81,494	22,936		○		
4		以下再掲事業分の評価表									0	0					
5	73	杉並芸術会館の維持管理									0	0					
6	90	商店街支援									0	0					
7	93	産業振興の基盤整備									0	0					
8	99	就労支援									0	0					
9											0	0					
10											0	0					
11											0	0					
12											0	0					
13											0	0					
14											0	0					
15											0	0					
16											0	0					
17											0	0					
18											0	0					
19											0	0					
20											0	0					
21											0	0					
22											0	0					
23											0	0					
24											0	0					
25											0	0					
26											0	0					
27											0	0					
28											0	0					
29											0	0					
30											0	0					
31											0	0					
32											0	0					
33											0	0					
34											0	0					
35											0	0					
36											0	0					
37											0	0					
38											0	0					
39											0	0					
40											0	0					
合計					72,143	0	16,998	10.59	1.00	1.00	98,032	170,175	22,936				

平成26年度　杉並区施策評価表Ⅰ

施策番号	7	施策名	地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興	目標番号	2	目標名	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	産業振興センター			関係課	―		

施策目標

○区と区内産業団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。
○就労支援や起業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、若者等の起業が進んでいます。
○地域の特性を活かした医療・福祉などの生活支援産業や、ICT（情報通信技術）・アニメなどの知的産業が成長してきています。
○区内農業者による地産地消マーケットなどの取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が活かされるようになってきています。

施策分析

Ⅰ・施策コスト（単位千円）

区分		平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	特記事項
事業費	1		916,583	840,003	810,035	714,083	○活動指標のうち、「就労準備相談」の平成24年度数値については、就労支援センターを開設した平成24年12月からの4か月間の実績数値となっている
(内)投資的経費等	2		699	2,053	450	450	
(内)委託費	3		256,817	236,373	237,837	228,554	
常勤職員数	4		16.00	20.17	18.80	22.69	
再任用職員数	5		3.00	3.13	1.00	1.16	
非常勤職員数	6		4.10	5.47	8.69	8.62	
人件費(4+5+6)	7		162,265	202,823	190,262	224,256	
総事業費(1＋7)	8	0	1,078,848	1,042,826	1,000,297	938,339	
国・都からの支出金	9		66,612	68,996	75,461	69,984	
総事業費伸び率（計画比・実績比）					▲ 7.3	▲ 10.0	当該年度総事業費／前年度総事業費 %
人件費比率			15.0	19.4	19.0	23.9	人件費／総事業費（単位%）

Ⅱ・活動指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
装飾灯LED化補助金交付本数		本	581	285	262
産業振興審議会開催回数		回	－	8	3
農家戸数		戸	163	160	152
就労準備相談件数		件	－	592	1,804

Ⅲ・成果指標

指標名	算式または指標の説明	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標	平成25年度実績	目標値	目標年度
商店街への満足度	区民意向調査による	%	56.6	59.1	49	60.3	55	33
地域特性を踏まえた商店街事業の創出	平成24年度以降の累積値	事業	－	1	2	3	10	33
就職面接会によって区内事業者に就職した人数	平成24年度以降の累積値	人	37	33	80	78	500	33

○平成25年度実績値が平成33年度目標値を既に達成している場合、その指標と目標値については総合計画の改定時に必要な見直しを行います。

施策を構成する事務事業の評価	推進（拡充）すべき事務事業	○中小企業支援　○商店街支援　○農業の支援・育成　○就労支援
	今後も同規模で継続（現状維持）すべき事務事業	○アニメの振興と活用　○産業商工会館維持管理　○産業振興の基盤整備 ○農業委員会の運営　○都市農地確保　○勤労福祉会館維持管理
	縮小（廃止）すべき事務事業	
	その他、個別の事情がある事務事業	

施策を取り巻く環境（社会情勢、国・都の動き、区民意見等）	国内経済は回復傾向にあるとされていますが、区内産業の状況をみると、事業所数や従業員数、農地などの減少傾向が続いています。一方で、情報通信、教育、医療、福祉などの分野で事業所数は増加傾向にあり、また、東日本大震災を契機として、多面的機能を持つ都市農地に対する区民の期待も高まっています。 区内産業が抱える共通の課題として、事業主の高齢化や後継者難、売上高の減少などがあり、これらの課題は、将来を見据えた持続可能な経営活動や区内産業の活性化・発展を妨げる可能性があります。

施策の総合評価（計画事業の取組実績と、取組実績を踏まえた評価結果）	産業振興計画の改定(平成25年4月)や、産業振興基本条例の施行(平成26年4月)により、産業振興に向けた基盤の強化を図りました。 商店街支援では、防犯カメラの設置や装飾灯のLED化促進により、安全・安心な生活支援拠点としての商店街づくりを進めるとともに、チャレンジ商店街支援プログラムによる複合的な支援により、挑戦意欲のある商店街の活性化に取り組みました。 また、産業経済団体やNPO等とともに「中央線あるあるプロジェクト」実行委員会を立ち上げ、情報発信やイベントなどの活動を通して、区外からの集客力を高めました。 平成24年12月に開設した「就労支援センター」の利用者数は、当初計画を上回る利用があり、利用実績は着実に増加しています。また、就労準備相談だけでは就職に至らない若者等への対応として、平成25年11月に「ジョブトレーニング室（すぎトレ）」を開設し、就労準備訓練や社会適応訓練による就労支援の強化を図りました。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の施策の方向性	◉ 拡充　○ サービス増　○ 現状維持　○ 効率化　○ 縮小・統廃合
	産業振興計画や産業振興基本条例に基づき、事業者・産業経済団体・区民・区が共通認識を持って、地域社会と共生する活力ある産業の振興を目指して、次のような取組を進めます。 商店街支援については、全区画一的な支援策ではなく、個々の商店街の地域特性にあった複合的な支援を行うことにより、にぎわいと商機の創出につながる商店街の活性化に向けた支援を進めます。 農業の支援・育成については、地域の貴重な財産である農地の保全に結びつくよう、農業者の経営支援や農とのふれあいの場の創出、地産地消事業の推進など、都市型農業の支援に取り組みます。 就労支援については、景気の回復により雇用環境も回復の兆しが見えますが、若年層の完全失業率は高止まりの状況で推移していることから、相談機能や訓練機能の充実に取り組むとともに、平成27年度開始予定の生活困窮者自立支援法に基づく就労準備支援事業への対応を進めます。	

平成26年度　杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策番号：7　】【施策名：地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興】

※金額の単位は千円

	事務事業番号	評価対象事務事業名	位置付		25年度事業費			職員数			人件費（再任用・非常勤含）	総事業費	国・都からの支出金	今後の事業の方向性			
			実行計画事業	主要事業		(内)投資的経費等	(内)委託費	常勤	再任用	非常勤				拡充	現状維持	縮小	その他
1	89	中小企業支援	○		132,472	0	13,603	2.08	0.00	2.00	23,510	155,982	0	○			
2	90	商店街支援	○	○	275,576	0	9,419	7.80	0.00	2.00	72,874	348,450	69,247	○			
3	91	アニメの振興と活用	○	○	72,955	450	52,213	2.50	0.00	0.00	21,575	94,530	0		○		
4	92	産業商工会館維持管理			40,255	0	40,140	0.20	0.00	0.20	2,282	42,537	0				
5	93	産業振興の基盤整備	○	○	50,496	0	3,001	3.24	0.00	1.80	32,965	83,461	0		○		
6	94	農業委員会の運営			6,278	0	321	1.40	0.10	0.00	12,468	18,746	737		○		
7	95	農業の支援・育成	○	○	6,007	0	341	0.69	0.90	0.20	9,985	15,992	0	○			
8	96	都市農地確保			15,813	0	13,923	1.40	0.16	0.80	14,924	30,737	0		○		
9	97	勤労福祉会館維持管理			70,016	0	56,142	0.10	0.00	0.00	863	70,879	0				
10	99	就労支援	○	○	44,215	0	39,441	3.28	0.00	1.62	32,810	77,025	0	○			
11											0	0					
12											0	0					
13											0	0					
14											0	0					
15											0	0					
16											0	0					
17											0	0					
18											0	0					
19											0	0					
20											0	0					
21											0	0					
22											0	0					
23											0	0					
24											0	0					
25											0	0					
26											0	0					
27											0	0					
28											0	0					
29											0	0					
30											0	0					
31											0	0					
32											0	0					
33											0	0					
34											0	0					
35											0	0					
36											0	0					
37											0	0					
38											0	0					
39											0	0					
40											0	0					
合計					714,083	450	228,544	22.69	1.16	8.62	224,256	938,339	69,984				